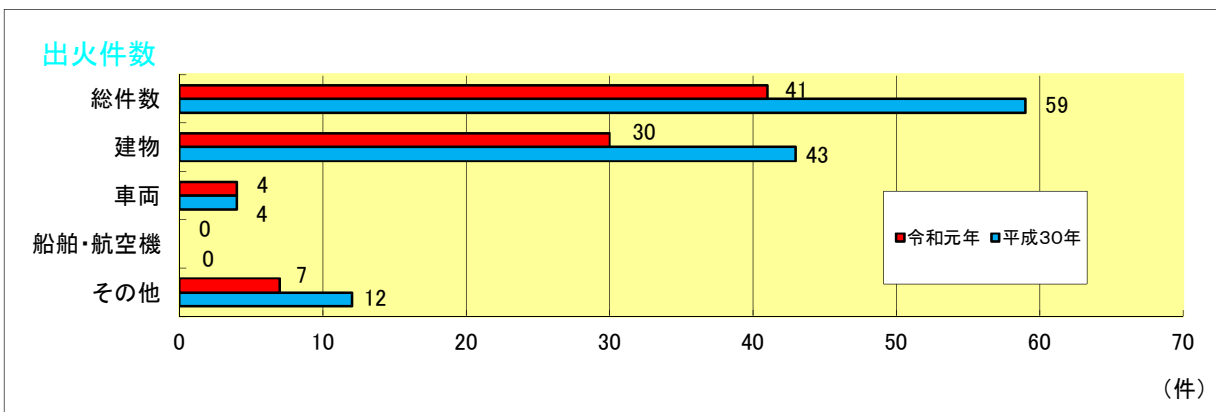


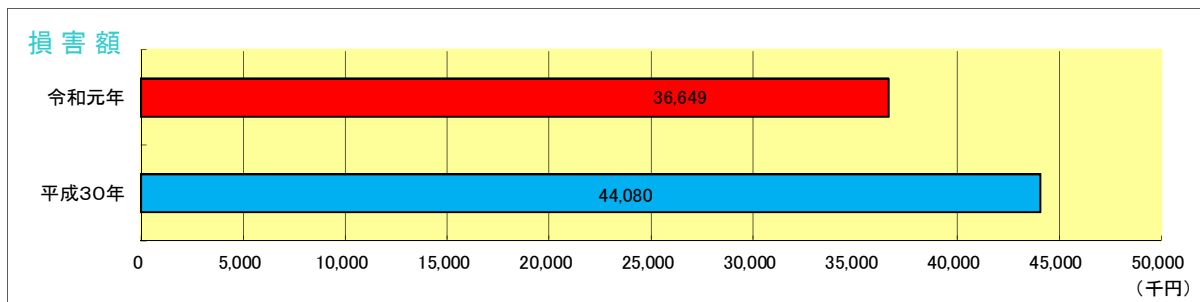
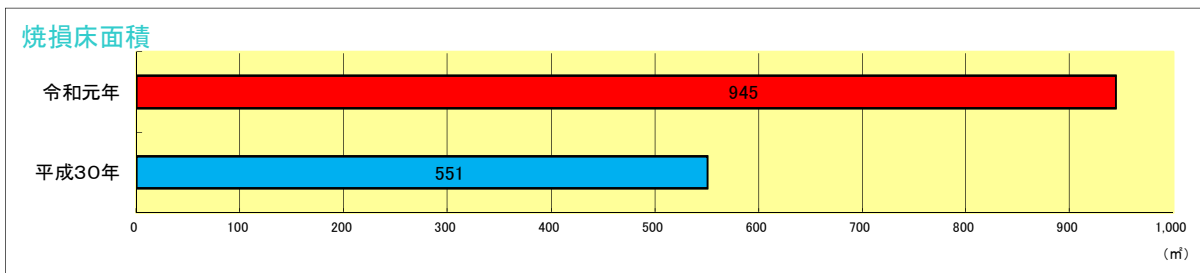
令和元年 8月 1日	
所 属	消防局情報指令課
所属長	本莊 芳成
電 話	06-6481-0119

令和元年上半期火災概要

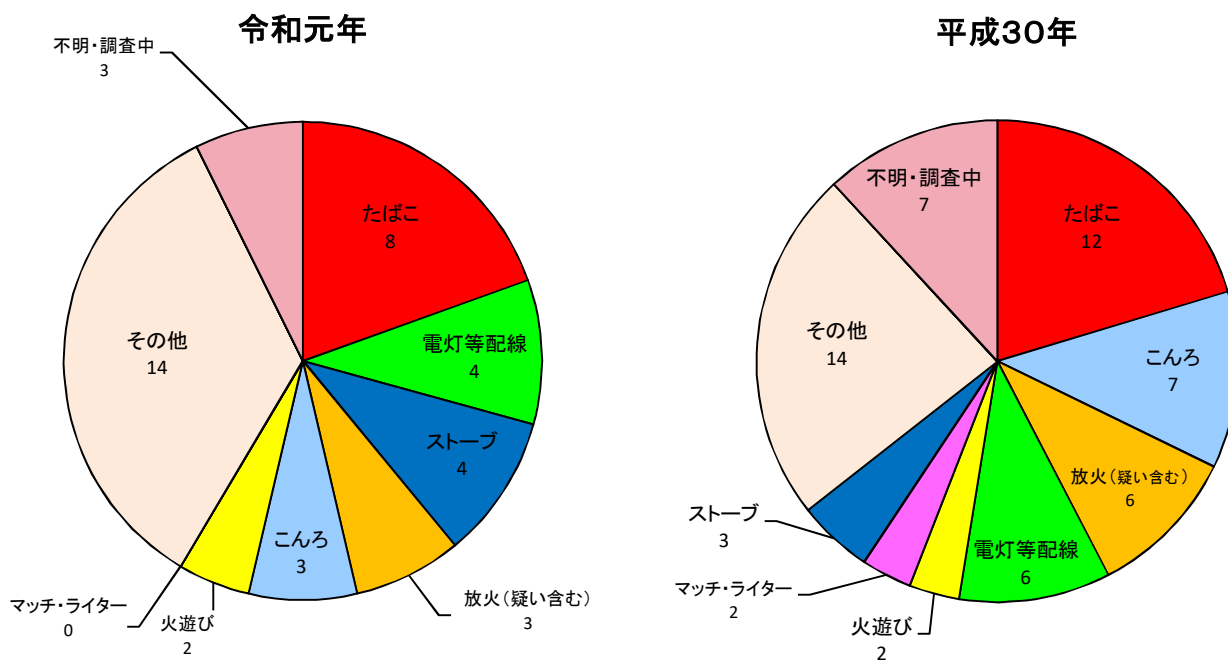
- 令和元年上半期（1月～6月）における火災の状況をみると、出火件数・焼損棟・死傷者・損害額については減少、焼損面積については増加となっています。
- 出火件数は、前年の59件から18件減少の41件となり、火災種別ごとにみると「建物火災」が30件で13件減少、「車両火災」が4件で同数、「船舶火災」、「航空機火災」は共に0件で、「その他火災」が7件で5件の減少となっています。



- 焼損床面積は、前年の551㎡から394㎡増加の945㎡、損害額は前年の44,080千円から7,431千円減少の36,649千円となっています。



- 死者は、2人（前年5人）で3人の減少、負傷者（30日死者含む）は8人（前年17人）で9人の減少となっています。
- 出火原因の1位は「たばこ」で、前年12件から4件減の8件、2位は「ストーブ」と「電灯等配線」で同数となっています。ストーブは前年3件から1件増加の4件、「電灯等配線」は前年6件から2件減少の4件で、火災総件数に対する上位3位までの占める割合は39.0%となっています。



- 各地区ごとの火災発生状況です。

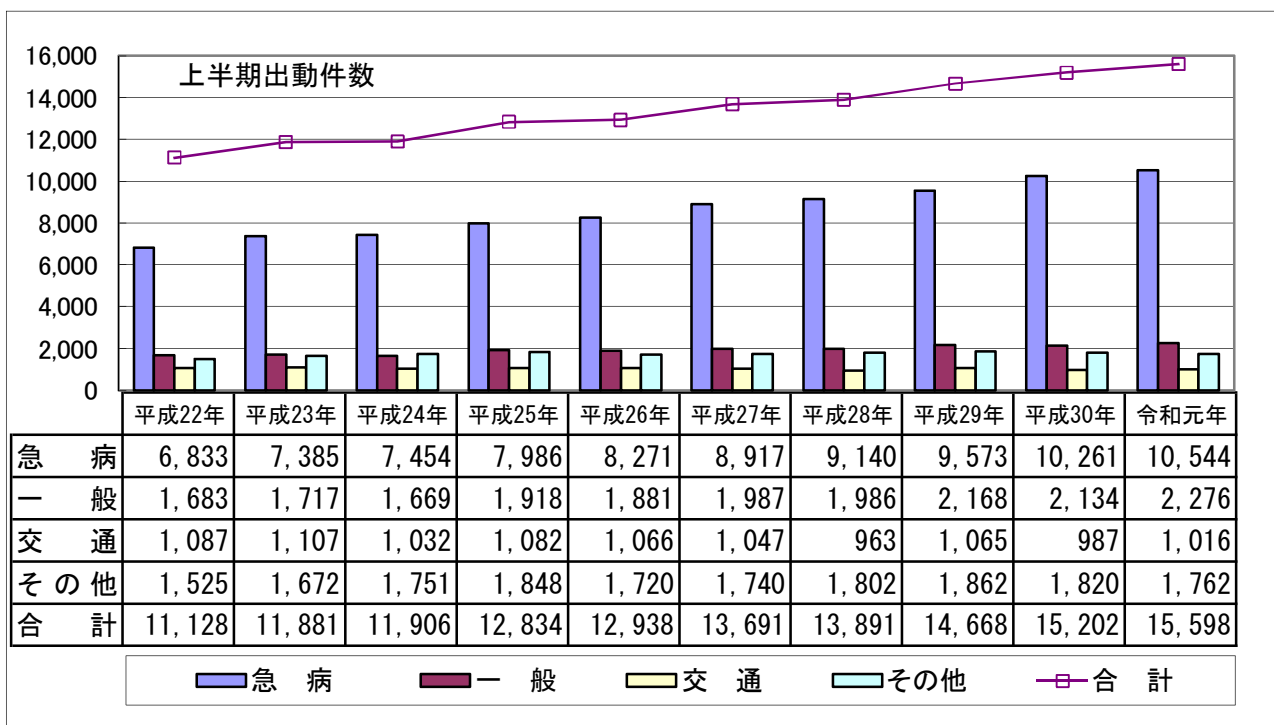
地区	出火件数	火災種別					焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)
		建物	車両	船舶	航空機	その他		
中央	9	8				1	398	3,661
小田	6	5	1				43	3,287
大庄	5	3	1			1	476	25,035
立花	4	3				1	2	194
武庫	6	3	1			2	23	3,048
園田	11	8	1			2	3	1,424
合計	41	30	4	0	0	7	945	36,649

令和元年上半期救急概要

- 令和元年上半期（1月～6月）における救急出動件数は、15,598件（前年15,202件）で396件（2.6%）の増加となり、搬送人員は、13,504人（前年13,289人）で215人（1.6%）の増加となっています。1日平均は86.2件（前年84.0件）であり約17分に1件の割合で救急隊が出動したことになります。

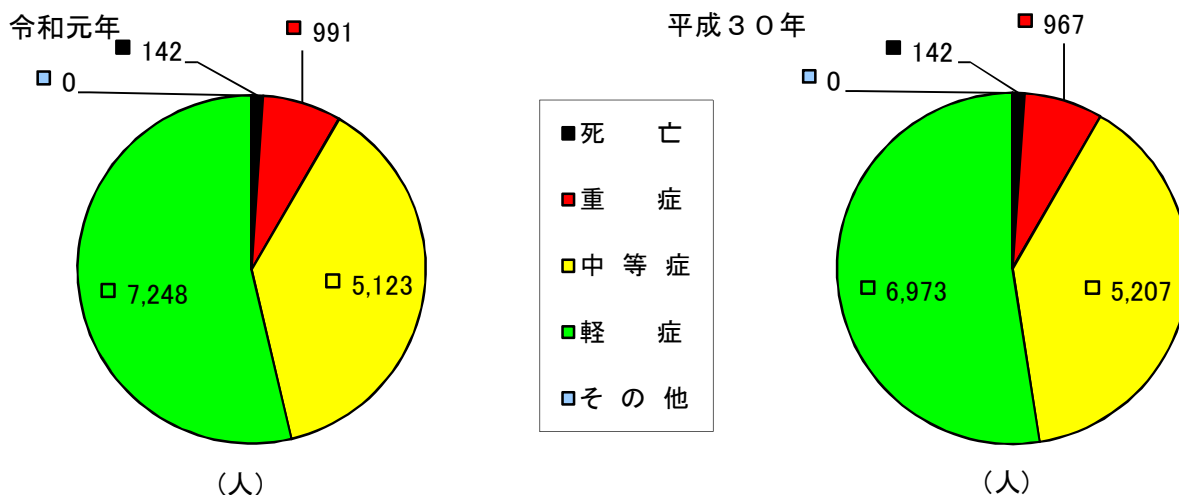
過去10年間の上半期救急出動件数の推移

- 過去10年間の上半期救急出動件数をみると、平成22年以降毎年増加し、本年は過去最多の出動件数となっています。



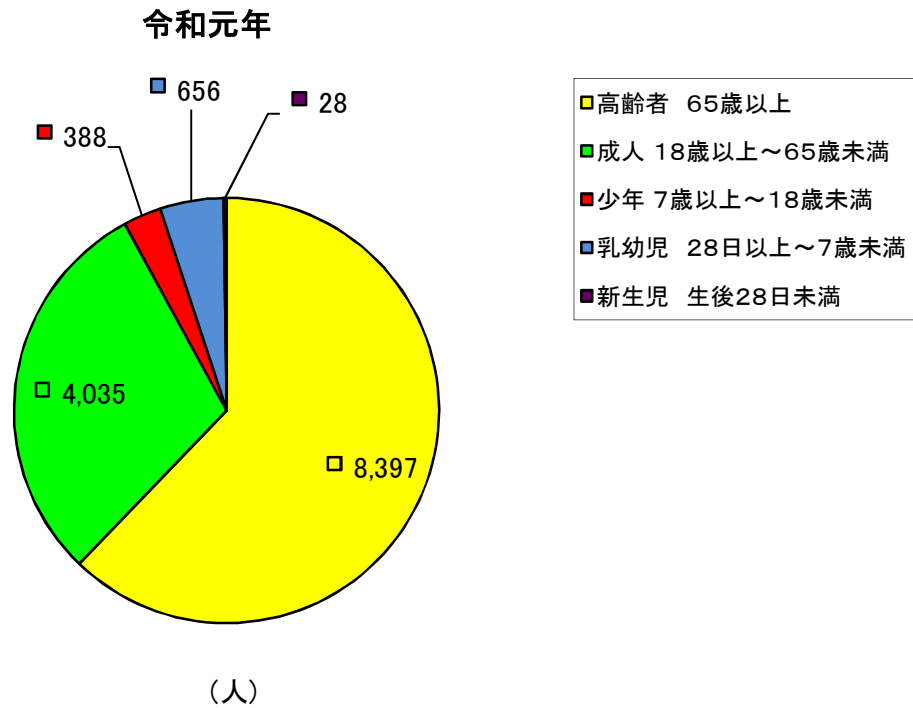
程度別

- 程度別をみると、軽症7,248人（前年6,973人）で275人（3.10%）の増加、中等症5,123人（前年5,207人）で84人（1.6%）の減少、重症991人（前年967人）で24人（2.5%）の増加、死亡142人（前年142人）で増減なしとなっています。



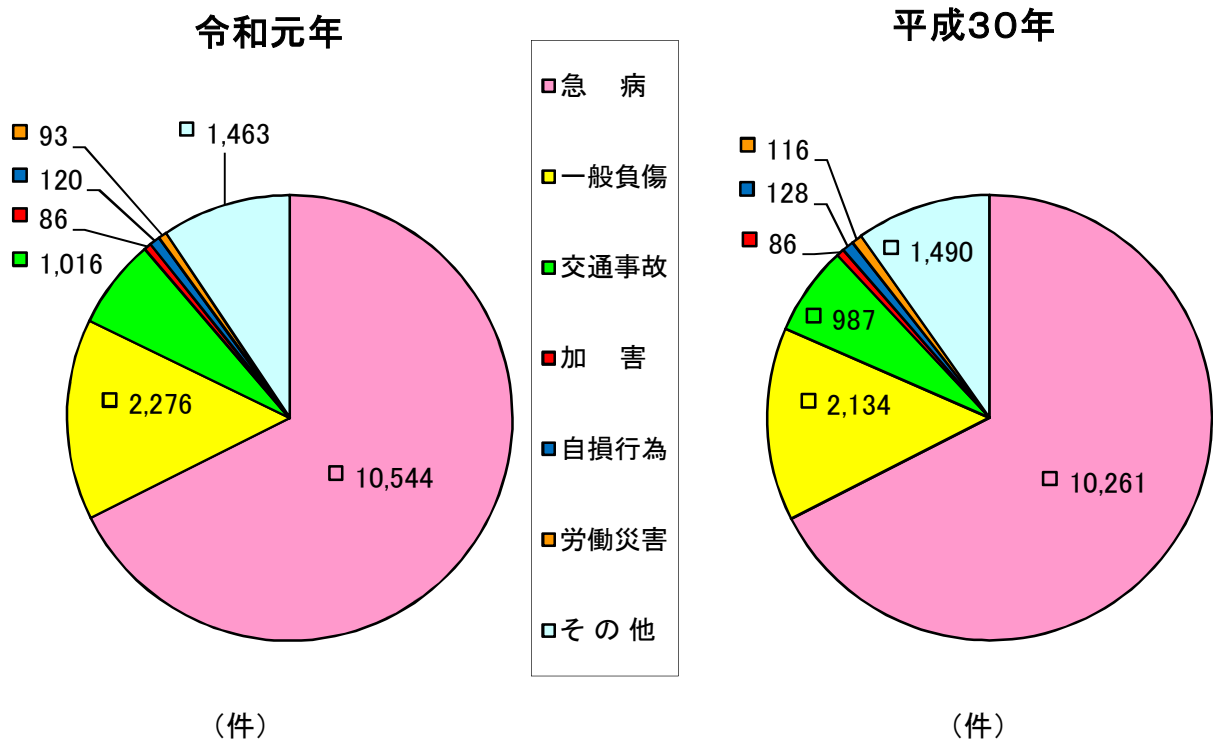
年齢区分別

- 年齢区分別をみると、高齢者が8,397人で最も多く、全体の62.2%を占め、以下、成人、乳幼児、少年、新生児の順となっています。



事故種別

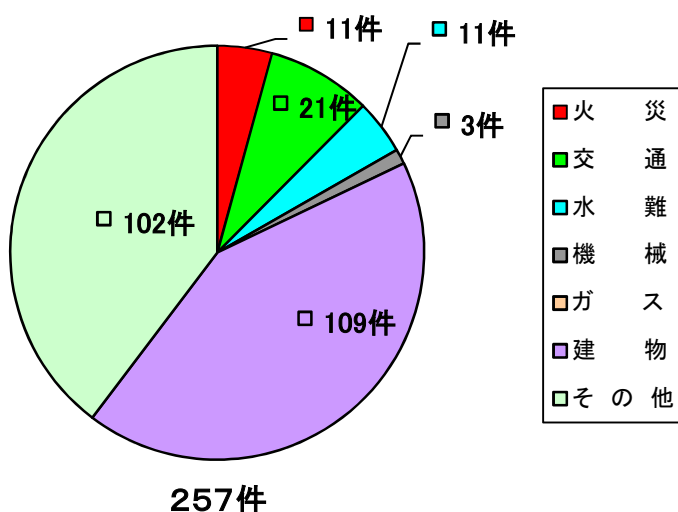
- 事故種別をみると、急病が最も多く全体の67.6%を占め、以下、一般負傷、交通事故の順となっています。



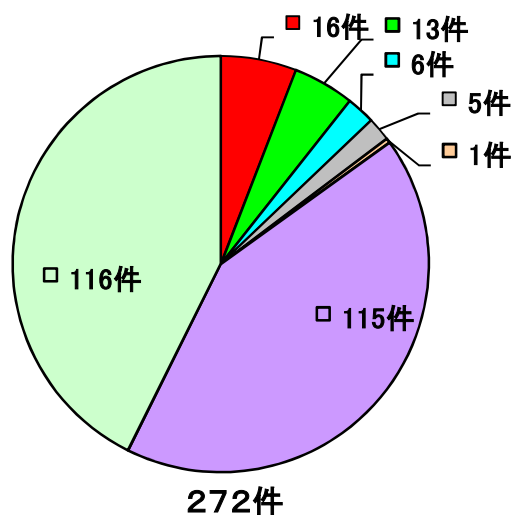
令和元年上半期救助概要

- 本市の救助体制は、高度救助隊1隊、特別救助隊1隊、署救助隊2隊、水難救助隊1隊で計5隊の救助隊を配置しています。
- 救助工作車は2台を有し、市域の南部に1台、北部に1台を配置し、あらゆる災害における救助体制の拡充、強化を図っています。
- 令和元年上半期の出動件数は257件（前年272件）で、出動隊数は422隊（前年462隊）となっており、種別ではその他の事故を除き、建物等による事故が最も多くなっています。
- 近年では、室内閉じ込め救助が増加しています。この室内閉じ込め救助とは、何らかの理由により、自力でドアを開けて外に出られなくなった又は室内に人がいると思われるが、安否の確認が出来ない状態のことであり、救助出動件数257件のうち161件（62.6%）がこの室内閉じ込め救助出動となっています。

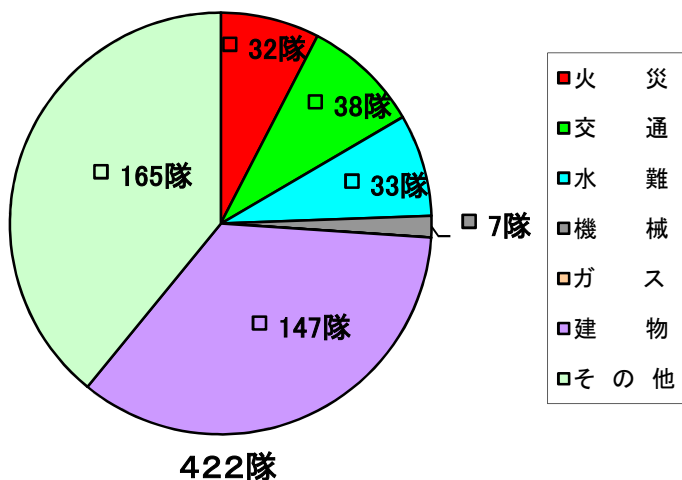
令和元年救助出動件数



平成30年救助出動件数



令和元年救助出動隊数



平成30年救助出動隊数

